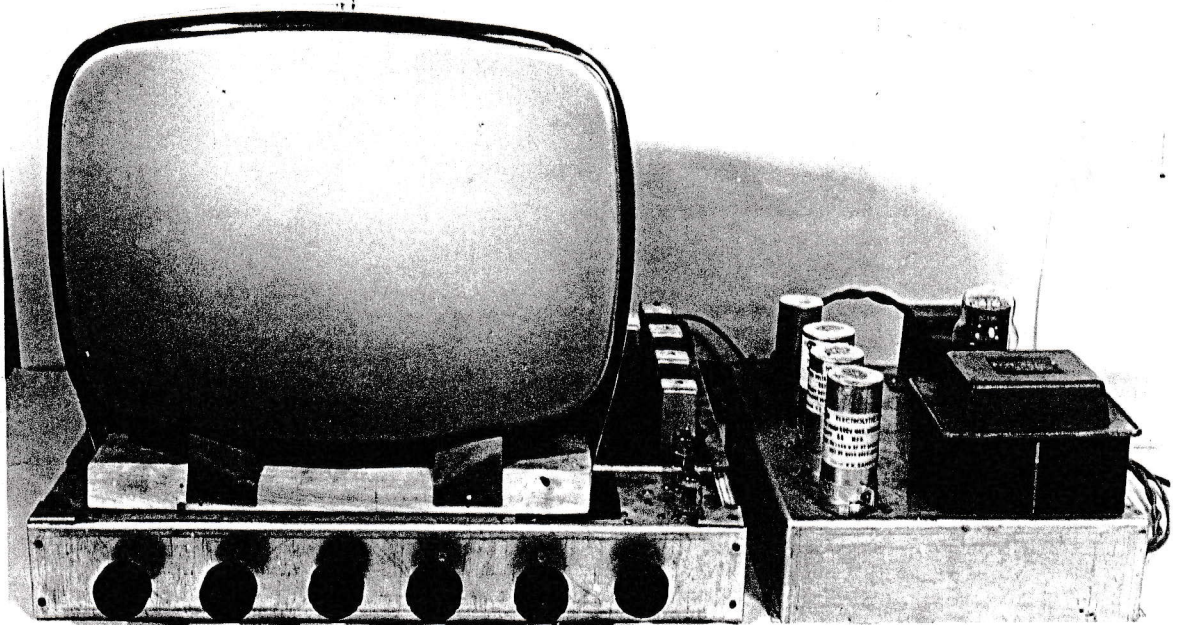
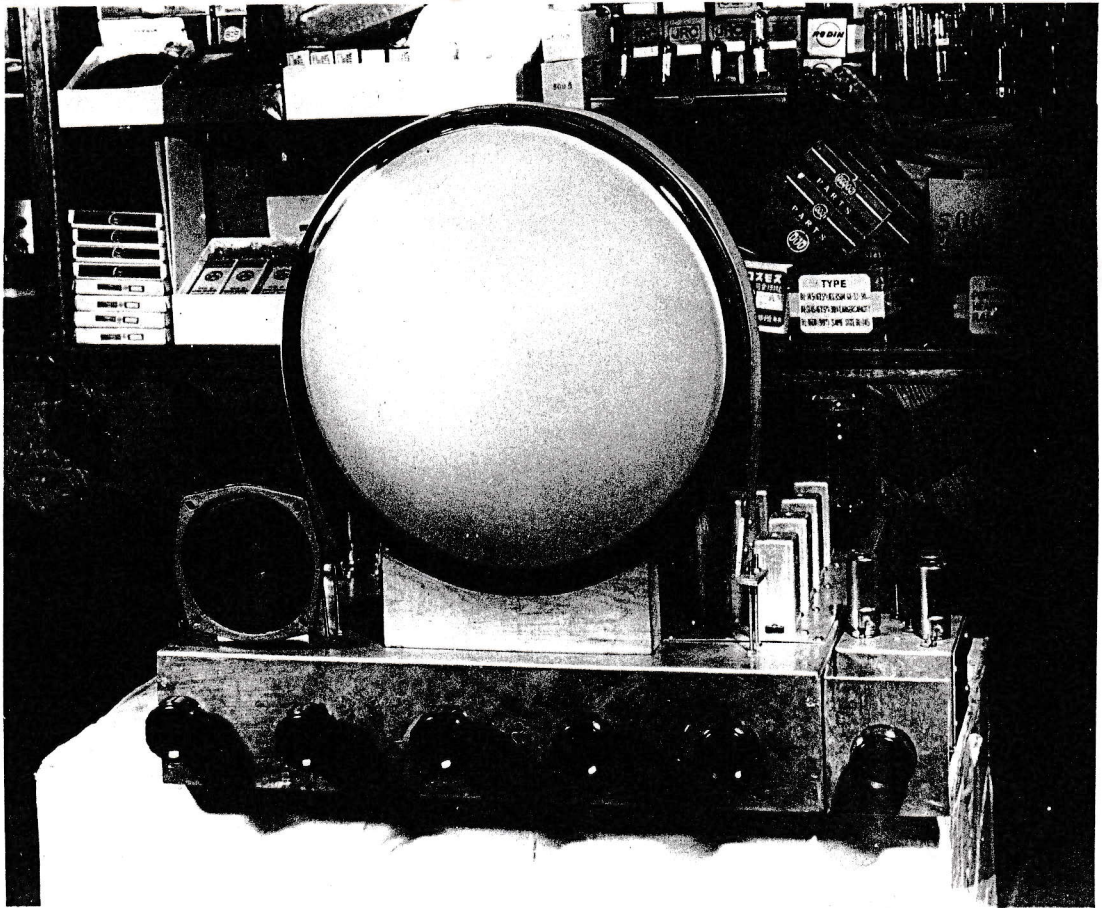


仕事の記録

特
A
4
40

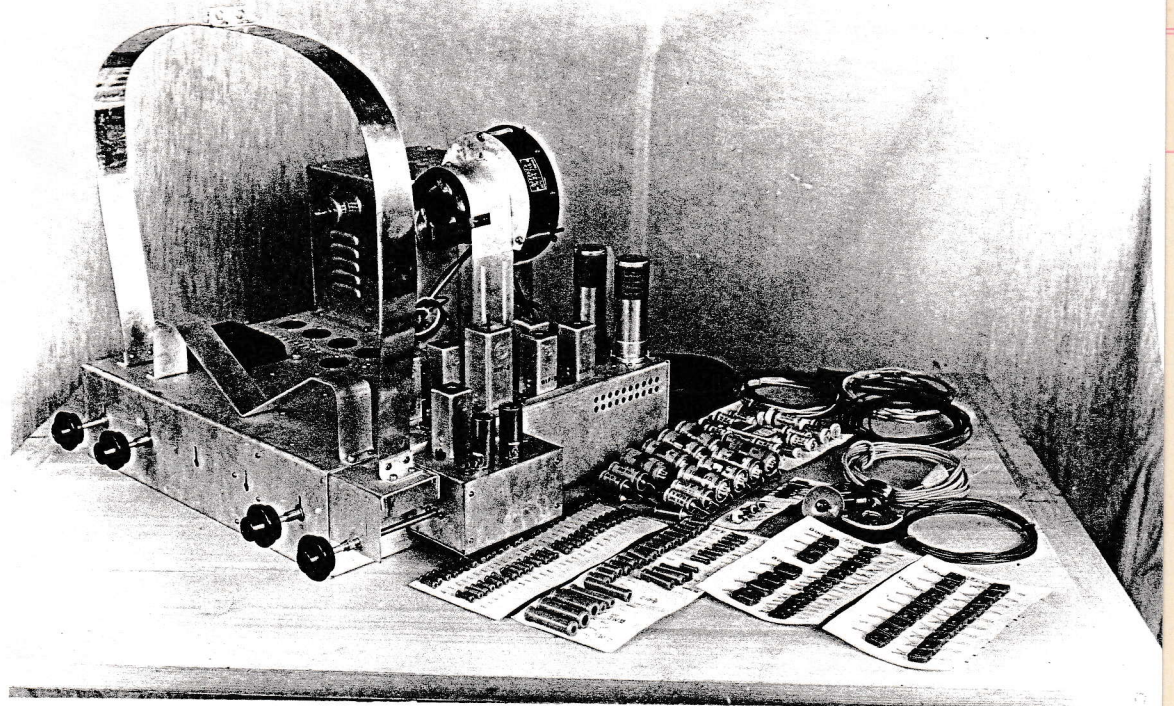
LIGHT

ニ、ビキットの内容
同様のテレビキット

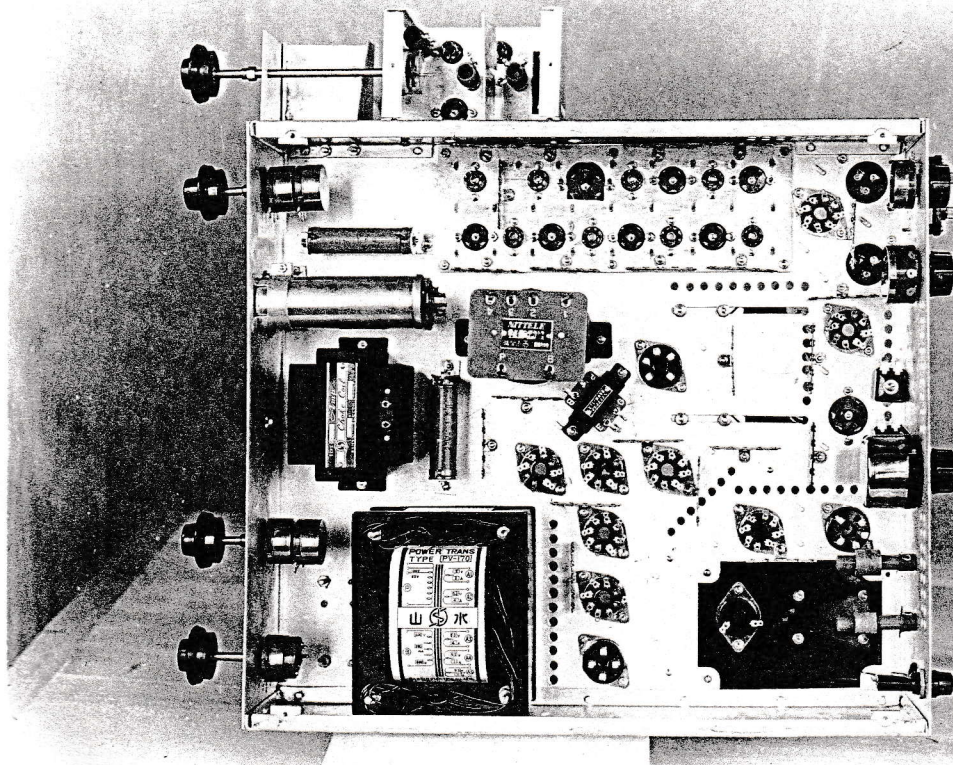


電源非同期にさつたため別電源で実験。

テレビキットの内容



チューナーは1チャンネルのみ (103.25 MC. 絵
107.75 MC 音)



25-5~29.4

1950~1954

S 25-4-2 電波受信工学 関 英男 神田にて学ぶ y 380-
ラジオ関係の基礎的な記述があり、愛読した。むづかしい本

無線従事者国家試験 無線技術士、2級に合格。

日本テレビ工業にてテレビジエルの設計試作。馬目国平社長。杉山、銅波氏など

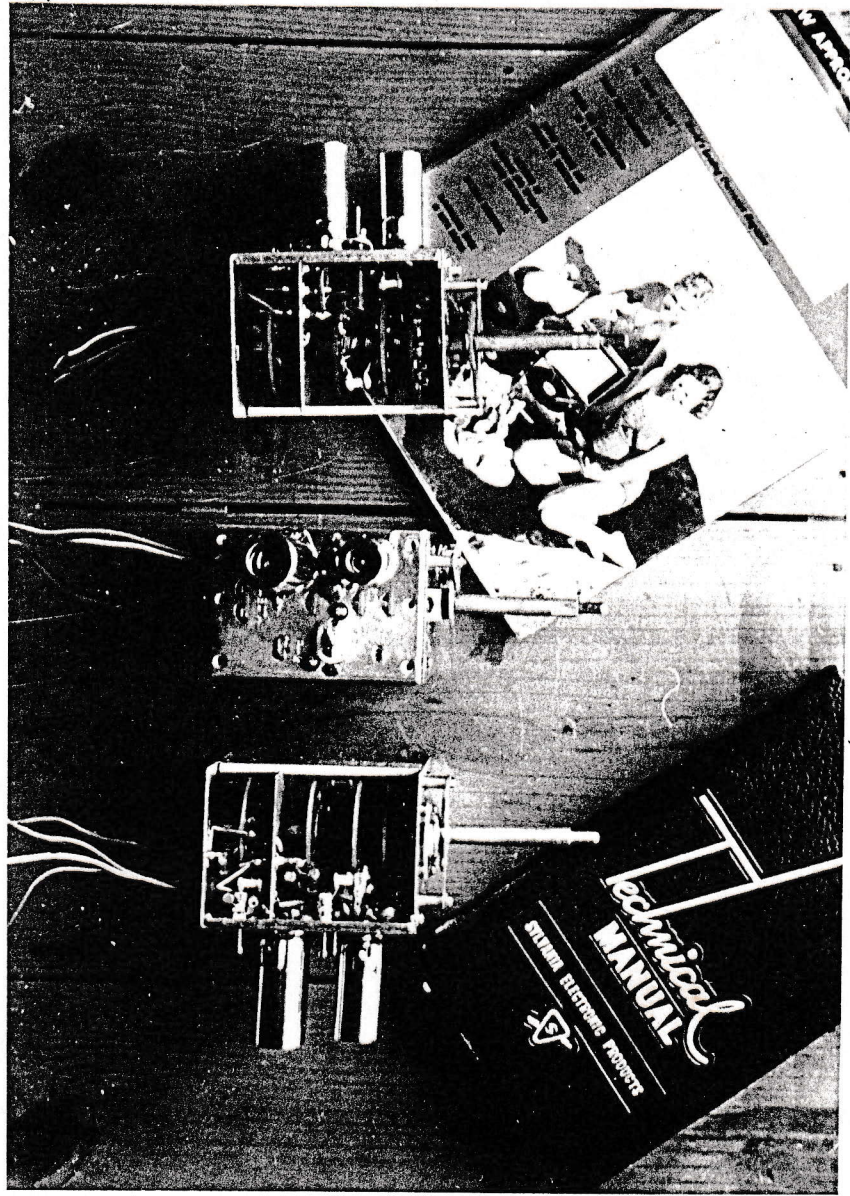
柴田信生氏に技術指導を受ける。

NHK技研 3りの電波受信に成功。小人と青虫。

昭和28-7-1 厚生年金加入(健康保険加入)
全経産業(株)に移行。

JULY, 7, 1953

東芝小向工場 テレビ向 64セルネル チューナー



ミヅキ電気にて チューナー設計

33-5~37.4

1958~196

1958 ~ 1962

<昭和33年 5月~37年 4月>

1958	33年 5月	・アンベックスのVTR、日本に初入荷
	7月	・毎日テレビ25日に初電波
	8月	・読売テレビ開局 ・ラジオ関東発足
	10月	・テレビ10kW時代へ ・東京タワー仕上げへ
	11月	・第1回パーテーション開幕 ・関西テレビ開局
	12月	・ソニー純国産VTR（放送用）完成
	34年 1月	・民放初のステレオラジオ放送 ・モトローラがステレオテレビ公開 ・東芝、東洋オーチスを吸収エレベーター開始
	3月	・関西のテレビ局がカラー実験放送へ
	4月	・NTVのカラー実験にCM許可
	5月	・東芝が国産初のカラーテレビ車を完成 ・電振協の計算センター開所 ・米ATT、ITTが人工衛星通信を発表
1959	7月	・NHKのFM10月開局が決定 ・HBCが国産VTR初採用
	8月	・東芝VTR第1号を完成 ・五輪テレビで宇宙通信体制強化へ
	11月	・沖が世界初のAPMを山形放送へ納入
	12月	・早川がITVに進出
	35年 2月	・関西テレビとコロムビアが二色カラー ・池上がNHK向け無人テレビ放送機
	3月	・国鉄、列車無線電話に着手
	4月	・岩通が60MCオシロスコープ ・東芝が初の電子文献検索装置
	5月	・富士通が磁気ドラム完成 ・FM東海発足 ・東芝が電算機発表 ・気象庁が富士山にレーダー設置計画
	6月	・松下が放送機に進出
	7月	・日電、世界最大の50kWクライストロン ・欧州にUHFテレビ出現 ・IBM3000システム発表
	8月	・東芝、大電力気象レーダー完成
	9月	・電算機メーカーとIBMの技術提携、基本線決まる ・カラーテレビに認可 ・カラー本放送開始 ・東芝とキャノンが円形磁気録音で提携 ・沖が電算機に乗り出す
	10月	・電波研が月へ電波発射
	12月	・三菱が電算機に進出 ・東芝1ヘッド、カラーVTR完成
	36年 2月	・東芝が留守番電話を商品化 ・第二次チャンネルプラン265局、Uは37局
	3月	・全国産のX線テレビを東芝が開発
	5月	・日立が電算機のノウハウでRCAと提携
	7月	・三菱が事務用電算機の製作へ
	8月	・日本トランシーバー工業会発足
	37年 1月	・KDD宇宙通信実験所着工
	3月	・NHKがFMステレオ化計画
1962	4月	・富士通が全電子交換機の初の実用化

喜安他

7月. トランジスタ回路. 上下. 丸善. 認本 y 55

8月 ラジエトロンデサイネース ハンドブック 認本 y

3月 半導体回路ハンドブック 認本. 東大. 近田研治

33-5~37.4

1958~1962

S 33-8-1 大成無線株式会社 入社.

S. 34

長女 誕生

針谷医院にて

戸塚区長尾台にて住む.

S 36-10 ラジオ組立説明書 NO.2 2石トランジスタラジオ TR 260K.

S 37-1-16 取締役 工場長.

S 37-6 ラジオ組立説明書 NO.4 5球スーパーラジオ

37-5~41.

1962~196

S 37 次女誕生 誕生 戸塚区長尾台

S 38-7 デルモニコ同 FA700 製造開始. AM/FM ラジオ (テーブル型 真空管)

S 38-9 すでに製造中止 モデル (新機種に移行のため)
GR85. TRL200, ハーレー. HTR255. HTR520 INT
HR530. U8230. TL230 HR520. HR500

S 38-9. 5球テーブルラジオの英文説明書 (アポニ社.) キット用

デルモニコ同.

FA700. FA727. FA740. PB735. PB741. PB746.
MPX747

ステレオ放送にそなえて ステレオ化対策.

S 40-8 ラジオ設計工学(改)鷲野^{おとし}松寿. 高橋^{おとし}良.
実際の設計に役立った.

y 150

大成無線(株) 製品に



電話器付
トランジスタラジオ
親機

子機



簡易型テレビアンテナ
フェデロ向

リモートコントロール
スピーカ

TR220 2帯ラジオ

←ロケット型
ゲルマニウムラジオ

←GR85
ゲルマニウムラジオ

TV用分配器

中央 4エフ4エフカ- (フェデロ向)

41-5~45.4

1966~1970

1966 ~ 1970

〈昭和41年6月~45年4月〉

1966	41年6月	・東方電機、A P 通信から写真伝送装置275台受注
	7月	・昭和41年度電算機レンタル300億円突破
	8月	・日電、米ヒューズ・エアクラフト社と合併のサテルコを設立
		・日立、高速漢字プリンターを開発
1967		・大蔵省、電算機輸入関税引下げ企図
	9月	・NHK、世界初のモノカラー方式フィルムカメラ開発
	10月	・I C 化電卓、各社名乗り
	11月	・インターホン工業会発足
	12月	・通産省、電算機の集中生産のため共同出資会社育成へ
		・日本電子機械工業会、受信障害改善へ陳情
	42年1月	・電算機で需要予測、本紙が初の試み
	2月	・富士通が電算機で翻訳、カナダの万博で実演
	3月	・富士通信機製造が富士通に社名変更
	5月	・カシオ、20万円割る電卓を発売
	6月	・R C A が電子走査レーダー発売
	7月	・米でV T R 規格統一への動き
1968	8月	・秋にU H F 免許、郵政相(小林)が公式表明
		・通信機輸出大幅減少
		・NHK、カラー用スローモーションVTRを採用
	10月	・電電公社、データ通信本部を設置
	11月	・沖、中型電算機9000シリーズの発表
		・NHKと東方電機がカラー写真電送の試作機を共同開発
		・電算機もミニ時代、米国業界が火付け役
	43年3月	・富士通がテレビ電話の概要を公開
1969		・アジアエレクトロニクス協議会4月に発足
		・キャノンカメラ、電子写真分野の第3方式としてN P システムを完成
	5月	・日電、オプティカルファイバー利用のファクシミリを発表
	7月	・日立中研、東大と共同で2 D A 方式のタイムシェアリングシステムを開発
	8月	・東芝、ガラスファイバー採用の平面走査型ファクシミリを開発
	44年2月	・NHK、3月からF M の本格放送開始
	3月	・ミニコンの国産各社、進出相次ぐ
		・近づく電卓の家庭普及、10万円割るのも時間の問題
1970	4月	・電子計算センター全国で330カ所が稼働
		・事務機43年内需3500億円。電卓は4年間で37倍の伸び
		・通産省大型プロジェクト、超高性能電算機標準化案まとめる
		・岩通、小西六、コビアの3社が複写機で提携
	5月	・情報処理、提供サービスを情報産業と呼称
	6月	・日立、富士通、日電の3社で超高性能電算機を製作、来年度半ばには完成の見通し
		・IBM、ソフトウェアの価格を分離、レンタル買い取りとも3%の値下げ攻勢
	7月	・日電、350万円という最廉価ミニコンを発表
		・アポロ11号、月面着陸
		・テレビ音声多重第一次試験実施計画決まる
	8月	・第4世代電算機の開発が内外で進む
	9月	・松下電器、ホームファクシミリを開発
	45年1月	・初の本格的CATV(東京ケーブルビジョン)今月中に業務開始
		・東芝、大型電算機に進出
	2月	・三菱グループ、情報産業に乗り出す
		・電電公社テレビ電話実験
	3月	・東芝、電算機のリース会社設立
		・富士通、漢字プリンター発表
		・日本万国博開募
		・通産省・電波試験所と松下通信がレーザーによるデータ伝送実験に成功
		・東方電機が大型ガラスファイバー方式を採用したファクシミリを開発

機械設計データブック 記本 松下

製品設計データブック 記本 松下

音声増幅器設計調整 島山 鶴雄

電子技術者のための計算図表とその用法 花岡

ラジオ工学 クーマン ①~④ y 450.-
古本屋にて.機械設計データブック 記本 松下
機械

300

41-5~45.4

1966~1970

S42 夏より 第2. 第4 土曜日の休日化始める.

S43 人手不足の爲に 55才 以上の嘱託^採~~採~~用を始める

昭和44年2月. エンゼル工場 1期分完成し. 仮使用開始. (小松建設施工
第1期 工費 101,296,000.00 43-8-1 着工.

敷地. 440坪. 建築面積 910.9坪 (3階建 1部4階)
鉄筋コンクリート.
外壁 ショールラス (ALC)
44-6-30 完了予定

S44-5 社長. 沢田君 海外出張 アメリカ. イタリー

山菱電機(株) Yamabishi Electric Co., Ltd

本社 〒543 大阪市天王寺区空堀町16-11 ☎06-762-7531~3
 大阪工場 〒580 大阪府松原市阿保1-17-2 ☎0723-31-2640~1
 出水工場 〒899-01 鹿児島県出水市下知識11045 ☎09966-2-2441
 伊佐工場 〒895-28 鹿児島県伊佐郡菱刈町重留1479 ☎09952-6-1321

資本金 4,200 万円
 従業員数 130 名
 代表取締役社長 蓮池孝夫
 取締役 蓮池ヨネ子
 取締役 菊地時雄
 取締役 横山盛行
 監査役 富本享

取扱製品

耐電圧試験器・測定用関連機器・電源装置・電源トランス

ユース電機(株) Youth Electric Co., Ltd.

本社 〒161 東京都新宿区西落合1-25-13 ☎03-952-0141
 本庄工場 〒367 埼玉県本庄市小島南1-11-21 ☎0495-21-1521
 室蘭工場 〒050 北海道室蘭市中島町2-17-7 ☎0143-6-3171

資本金 3,500 万円
 従業員数 243 名
 取締役社長 星幸衛門
 常務取締役 小山正雄
 常務取締役 鍵鉦三
 常務取締役 星久夫
 取締役 三宅栄治
 監査役 清水孝雄

取扱製品

低周波コイル・低周波トランス・パルストランス・電源トランス・高周波コイル・
 その他のトランス

(株)ユタカ電機製作所 Yutaka Electric Mfg. Co., Ltd.

本社 〒211 神奈川県川崎市中原区荻宿228 ☎044-411-2171
 秩父工場 〒369-14 埼玉県秩父郡皆野町1632 ☎04946-2-1170
 大阪営業所 〒540 大阪市東区京橋3-68(日精ビル) ☎06-942-1181

資本金 5,500 万円
 従業員数 300 名
 会長 西村正一
 代表取締役社長 西村潤一
 取締役 船橋智吉
 取締役 野口藤等
 取締役 松浦等
 取締役 西村朋和
 監査役 原澄雄

取扱製品

測定用関連機器・電源装置・電源トランス・トランス用コア・コイル用コア

ユニオン(株) Union Co., Ltd.

本社 〒230 横浜市鶴見区上末吉5-31-22 ☎045-581-1404

資本金 1,000 万円
 従業員数 170 名
 代表取締役 馬目周平
 取締役 中島正幸
 取締役 伊澤龍雄
 取締役 澤田俊彦
 取締役 馬目一二
 監査役 馬目洋一

取扱製品

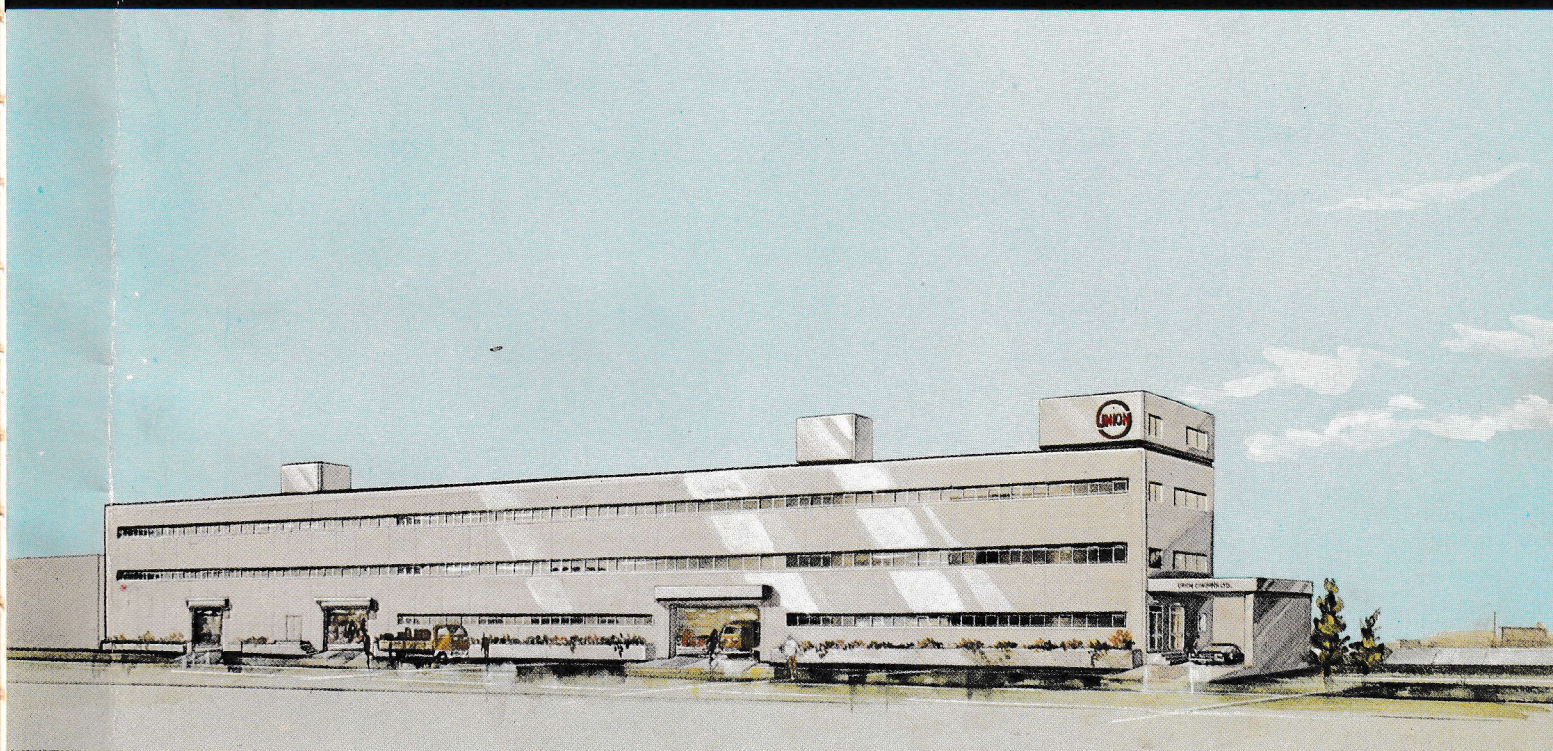
プリアンプ・メインアンプ・FMチューナ・ミュージックセンタ・クロックラジオ

ユニゾン(株) Unizon Corp.

本社 〒664 兵庫県伊丹市東有岡1-18 ☎0727-82-3565
 東京支店 〒160 東京都新宿区西新宿1-4-9 ☎03-343-2711
 梁瀬工場 〒669-51 兵庫県朝来郡山東町矢名瀬字柿ノ木段 ☎079676-2371

資本金 1億574 万円
 従業員数 390 名
 代表取締役社長 広瀬恭一
 取締役 門脇精

会社概要



ユニオン株式会社

横浜市鶴見区上末吉 5丁目31番 22号
TEL 横浜 581-1404 (代表)



取締役社長

馬目周平

SHUHEI MANOME

ごあいさつ

私が日常考えていることは……

第一に、いかにしたら、より良い品物を安く作って社会のためになるか。

第二に、いかにしたら会社も、社員も健全に発展することができるか。

第三に、いかにしたら会社の内容を業界で一流にすることができるか。

と、ということです。

幸い、以上の三点とも年を追って理想に近づきつゝあります。皆さんも第三者の公正な立場で当社においてになり、私の考えが正しいかどうかを判断して下さい。

それから、会社というものは建物が大きいとか、資本金や従業員が多いから良い会社とは申せません。

皆さん自身が働きがいのある会社に職を求めることが人生のもっとも大切なことだと思います。

当社の概要

商号 ユニオン株式会社

本社・工場 横浜市鶴見区上末吉5丁目31番22号

設立年月日 昭和29年4月6日

資本金 壱千万円（留保金貳億五千万円）

建物面積 3,100平方m（3階建、冷暖房完備）

従業員 220名

製造品目 音響関係全般の製品

ステレオ コンポーネント

ステレオ コンソール

ステレオ テープ プレーヤ

社長 馬目周平



世界各国に輸出している

主な製品

